

# 新番号単価適用の時期について

資料 2

## 1 新番号単価適用の時期（認可申請）

H 2 0 年度		H 2 1 年度	
1月	12月	1月	12月
負担金の額	13,628百万円	負担金の額	18,105百万円
補てん対象額	13,561百万円	補てん対象額	18,040百万円
支援事務費	67百万円	支援事務費	65百万円
<b>【番号単価】 6 円</b>		<b>【新番号単価】 8 円</b>	

最終算定月

徴収額が負担金の額を超える月  
(算定等規則第27条)

【最終算定月】平成20年12月予定

## 2 新番号単価適用等の実績

H 1 9 年度		H 2 0 年度		H 2 1 年度	
1月	12月	1月	?月 [12月見込み]	?月 [1月見込み]	12月見込み
負担金の額	15,302百万円	負担金の額	13,628百万円	負担金の額	18,105百万円
補てん対象額	15,178百万円	補てん対象額	13,561百万円	補てん対象額	18,040百万円
支援事務費	124百万円	支援事務費	67百万円	支援事務費	65百万円
<b>番号単価 7円</b>		<b>番号単価 6円</b>		<b>番号単価 8円</b>	

徴収額 15,391百万円  
 負担金の額 15,302百万円  
 差引き額 89百万円

徴収額         百万円  
 負担金の額 13,628百万円  
 前年度繰越額 89百万円  
 差引き額         百万円



H20年度の  
負担金に繰越

(注) 徴収額はN T T東西の自己負担額を含む

### 3 平成20年度における最終算定月の見込み

H20年度			H21年度		
1月		12月	1月	2月	12月
負担金の額 13,628百万円 ( 番号単価 6円 )					
徴収見込額 13,415百万円 前年度繰越額 89百万円 不足額 123百万円			→	新番号単価 8円適用	

(注) 徴収見込額はN T T 東西の自己負担額を含む

最終算定月12月ではH20年度の負担金の額の全てを徴収しきれずにH21年1月までの徴収が必要 **最終算定月が1月となる**

H20年度の最終算定月が1月にずれ込むため、新番号単価 8 円の適用はH21年2月からとなる見込み

【原因】 番号数の伸びの鈍化など

	年間伸び率	番号単価	切捨て率
H19	1.95%	7.1円	1.42%
H20	1.75%(見込み)	6.2円	3.33%